

## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月10日

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社  
コード番号 2915

上場取引所 JASDAQ

URL <http://www.kenkomayo.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 炭井 孝志

問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 奥田 洋 TEL (03)5317-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	13,292	(5.8)	626	(△10.9)	615	(△10.3)
19年3月期第1四半期	12,557	(△2.4)	702	(—)	686	(—)
19年3月期	50,317	(—)	2,619	(—)	2,534	(—)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)当期純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	255	(△37.2)	22 73	—
19年3月期第1四半期	406	(—)	36 17	—
19年3月期	1,714	(—)	152 76	—

## (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	29,483	8,243	27.8	730 06
19年3月期第1四半期	25,851	6,734	25.9	599 85
19年3月期	28,654	8,109	28.1	718 00

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	96	△161	△205	2,936
19年3月期第1四半期	△91	△118	323	2,231
19年3月期	3,048	△1,788	△171	3,207

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金
	第1四半期末
20年3月期第1四半期	—
19年3月期第1四半期	—

## 3. 20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	27,300	6.9	1,100	△25.5	1,050	△26.3	470	△48.6	41 87	
通期	55,000	9.3	2,650	1.2	2,550	0.6	1,350	△21.3	120 26	

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

〔(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等」 4. その他をご覧ください。〕

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当第1四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、平成19年5月18日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格高騰の再燃や為替相場も円安で推移するなど輸入品を始めとした物価上昇による景気への影響が懸念されましたが、堅調な企業業績を背景に緩やかな拡大を続けております。

しかしながら、食品業界におきましては、食の安全・安心に対する消費者意識の高まりから、トレーサビリティなどの高い品質管理のレベルが求められ、一方では少子高齢化により市場は縮小傾向にあるものの、消費者のニーズはますます多様化しております。またバイオ燃料需要の急増、中国での消費増大等により穀物相場及び食用油の価格が高騰し、今後も高値で推移すると思われまます。加えて原油高に起因する包装資材類、物流費、燃料費の高騰等の収益を圧迫する要因があり、経営環境は厳しさを増しております。

このような状況の中で当社グループは、中期経営3ヵ年計画『DASH SALAD』も2年目に入り、部門横断型プロジェクト・チームであるCFT（クロス・ファンクショナル・チーム）においては、基盤事業であるマヨネーズ・ドレッシング類を中心としながら、サラダをキーとした三位一体の販売強化のために分野別、品目別での様々な取り組みを行って参りました。健康志向の高まりや多様化する消費ニーズへの要望に対応するため、様々な部署からメンバーを参画させる事で、新たな需要の掘り起こしに繋げております。

また、当社を取り巻く厳しい経営環境の中、利益体質をより強固なものとするため、「業績向上実施部」を新設し、個々の業務内容の見直しと改善を進め、社内で発生する様々なロス、ムダを徹底的に排除する為のルールと仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第1四半期における売上高につきましては、CFTを始めとした販売活動により132億9千2百万円（前年同期比7億3千5百万円、5.9%増）となりました。当社グループでは、今後の更なる需要の増加へ対応する為、西日本工場（京都府舞鶴市）を新設し、当期での本稼働に向けて準備を進めております。この工場は、大量生産型のラインだけでなく、お客様からの多様なニーズにお応えするために多品種少量・変種変量生産にも対応できるラインを備えた工場とする計画であります。

また、営業利益につきましては、食用油の価格を中心とした原資材類等の収益圧迫要因は1億6千8百万円でありましたが、増収による利益増の効果及び業績向上実施部による活動によって9千2百万円の収益改善が図れました結果、6億2千6百万円（前年同期比7千6百万円、10.7%減）となりました。同様に経常利益も6億1千5百万円（前年同期比7千万円、10.2%減）となりました。この企業努力のみでは吸収できないコストアップ部分につきましては平成19年5月31日発表のプレスリリースの通り価格改定を進めさせていただいており、概ねお取引先様にご了承を頂いておりますので、平成19年5月18日に発表いたしました通期の連結営業利益予想26億5千万円及び同連結経常利益予想25億5千万円は変更いたしてございません。

当期純利益につきましては、固定資産の評価をより厳格化し、稼働率の低い生産設備の減損処理を進め、1億6千7百万円の減損損失を計上いたしました結果、2億5千5百万円（前年同期比1億4千9百万円、36.9%減）となりました。この減損処理により、当第1四半期においては、当期純利益は低い水準となりましたが、財務体質の一層の健全化が図れ、また今後の償却費負担の軽減効果も見込まれております。なお通期の連結当期純利益予想13億5千万円につきましても変更いたしてございません。

なお、当社グループは単一セグメントのためセグメント情報の記載は行ってございません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 当第1四半期財政状態の変動

当第1四半期における資産合計は294億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千8百万円増加いたしました。これは現預金が2億7千1百万円減少、売掛金が7億5百万円及び有形固定資産で3億7千1百万円増加等によります。

当第1四半期における負債合計は212億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千4百万円増加いたしました。これは支払手形及び買掛金が4億3千3百万円、未払金が3億1千1百万円の増加、賞与引当金が2億4千3百万円の減少等によります。

当第1四半期における純資産合計は82億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1億3千5百万円増加したことによります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物の残高は29億3千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億7千1百万円の減少となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、9千6百万円となりました。  
これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億6千1百万円となりました。  
主な支出として、投資有価証券の取得によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億5百万円となりました。  
これは主に長期借入金の返済によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は概ね計画通りに推移しており、中間期及び通期につきましては、平成19年5月18日に発表いたしました「平成20年3月期決算短信(連結)」に記載している当期の業績予想を変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項は有りません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項は有りません。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項は有りません。

## 5. (要約)四半期連結財務諸表等

## (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増減		(参考)前期末
	平成19年3月期 第1四半期末	平成20年3月期 第1四半期末	金額	増減率	(平成19年3月 期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金及び預金	2,231	2,936	704	31.6	3,207
2 受取手形及び売掛金	8,245	10,072	1,827	22.2	9,367
3 たな卸資産	2,009	2,164	155	7.7	2,245
4 繰延税金資産	324	288	△ 36	△ 11.2	289
5 その他	247	174	△ 72	△ 29.5	151
貸倒引当金	△ 14	△ 15	△ 1	8.4	△ 14
流動資産合計	13,044	15,620	2,576	19.7	15,247
<b>II 固定資産</b>					
<b>1 有形固定資産</b>					
(1) 建物及び構築物	4,426	4,061	△ 364	△ 8.2	4,122
(2) 機械装置及び運搬具	1,497	1,274	△ 223	△ 14.9	1,493
(3) 工具・器具及び備品	176	196	19	11.2	216
(4) 土地	3,403	3,992	588	17.3	3,992
(5) 建設仮勘定	10	1,183	1,173	-	512
有形固定資産合計	9,514	10,708	1,194	12.6	10,336
<b>2 無形固定資産</b>					
	692	545	△ 146	△ 21.2	581
<b>3 投資その他の資産</b>					
(1) 投資有価証券	1,603	1,479	△ 123	△ 7.7	1,368
(2) 長期前払費用	169	164	△ 5	△ 3.4	166
(3) 繰延税金資産	-	108	108	-	105
(4) 差入保証金	368	348	△ 19	△ 5.4	350
(5) 保険積立資産	385	419	33	8.6	411
(6) その他	135	149	14	10.4	149
貸倒引当金	△ 63	△ 62	1	2.7	△ 62
投資その他の資産合計	2,599	2,607	8	0.3	2,489
固定資産合計	12,807	13,862	1,055	8.2	13,407
<b>資産合計</b>	<b>25,851</b>	<b>29,483</b>	<b>3,631</b>	<b>14.0</b>	<b>28,654</b>

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増減		(参考)前期末
	平成19年3月期 第1四半期末	平成20年3月期 第1四半期末	金額	増減率	(平成19年3月 期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 支払手形及び買掛金	6,146	8,240	2,094	34.1	7,807
2 短期借入金	1,360	1,250	△ 109	△ 8.1	1,000
3 1年以内償還予定の社債	860	-	△ 860	-	-
4 1年以内返済予定の長期借入金	2,029	1,601	△ 428	△ 21.1	1,621
5 未払金	1,840	2,423	583	31.7	2,111
6 未払法人税等	296	212	△ 84	△ 28.5	409
7 賞与引当金	214	210	△ 4	△ 2.1	453
8 役員賞与引当金	-	6	6	-	11
9 売上割戻引当金	141	117	△ 23	△ 16.8	27
10 設備支払手形	129	308	178	137.6	15
11 その他	828	943	121	13.9	729
流動負債合計	13,847	15,314	1,466	10.6	14,188
<b>II 固定負債</b>					
1 長期借入金	3,942	4,827	885	22.5	5,162
2 退職給付引当金	326	341	14	4.5	338
3 役員退職慰労引当金	117	87	△ 29	△ 25.2	137
4 繰延税金負債	131	36	△ 94	△ 72.0	36
5 デリバティブ負債	44	27	△ 16	△ 37.2	41
6 その他	707	604	△ 103	△ 14.6	640
固定負債合計	5,269	5,925	656	12.5	6,356
<b>負債合計</b>	<b>19,116</b>	<b>21,240</b>	<b>2,123</b>	<b>11.1</b>	<b>20,545</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	1,179	1,179	-	-	1,179
2 資本剰余金	1,447	1,447	-	-	1,447
3 利益剰余金	3,533	4,985	1,452	41.1	4,842
4 自己株式	△ 12	△ 14	△ 2	21.4	△ 13
株主資本合計	6,147	7,597	1,450	23.6	7,455
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券評価差額金	525	592	67	12.8	581
2 繰延ヘッジ損益	7	△ 2	△ 9	-	14
3 為替換算調整勘定	4	8	4	94.3	9
評価・換算差額等合計	536	598	61	11.5	604
<b>III 少数株主持分</b>					
少数株主持分	50	47	△ 2	△ 5.7	49
純資産合計	6,734	8,243	1,508	22.4	8,109
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,851</b>	<b>29,483</b>	<b>3,631</b>	<b>14.0</b>	<b>28,654</b>

## (2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考)前期
	平成19年3月期 第1四半期	平成20年3月期 第1四半期	金額	増減率	(平成19年3月 期) 金額
I 売上高	12,557	13,292	734	5.8	50,317
II 売上原価	8,952	9,752	800	8.9	36,221
売上総利益	3,605	3,539	△ 65	△ 1.8	14,095
III 販売費及び一般管理費	2,902	2,913	10	0.4	11,476
営業利益	702	626	△ 76	△ 10.9	2,619
IV 営業外収益	19	25	5	29.5	78
V 営業外費用	35	36	0	0.5	163
経常利益	686	615	△ 70	△ 10.3	2,534
VI 特別利益	5	0	△ 5	△ 100.0	134
VII 特別損失	7	168	160	2,116.6	185
税金等調整前四半期(当期)純利益	684	447	△ 236	△ 34.6	2,482
税金費用	275	193	△ 82	△ 29.8	771
少数株主損益	2	△ 1	△ 3	△ 175.9	△ 3
四半期(当期)純利益	406	255	△ 150	△ 37.2	1,714

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) (単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	1,179	1,447	4,842	△ 13	7,455
第1四半期中の変動額					
剰余金の配当(注)			△ 112		△ 112
四半期純利益			255		255
自己株式の取得				△ 1	△ 1
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)					
第1四半期の変動額合計			143	△ 1	142
平成19年6月30日残高	1,179	1,447	4,985	△ 14	7,597

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	581	14	9	604	49	8,109
第1四半期中の変動額						
剰余金の配当(注)						△ 112
四半期純利益						255
自己株式の取得						△ 1
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	11	△ 16	△ 1	△ 6	△ 2	△ 8
第1四半期の変動額合計	11	△ 16	△ 1	△ 6	△ 2	134
平成19年6月30日残高	592	△ 2	8	598	47	8,243

(注) 剰余金の配当△112百万円は、平成19年6月の定時株主総会における利益処分による増減であります。

(参考) 前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	1,179	1,447	3,326	△ 11	5,940
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)			△ 168		△ 168
利益処分による役員賞与(注)			△ 30		△ 30
当期純利益			1,714		1,714
自己株式の取得				△ 2	△ 2
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)(注)					
連結会計年度中の変動額合計			1,516	△ 2	1,514
平成19年3月31日残高	1,179	1,447	4,842	△ 13	7,455

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	581	—	4	585	47	6,574
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当(注)						△ 168
利益処分による役員賞与(注)						△ 30
当期純利益						1,714
自己株式の取得						△ 2
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)(注)	0	14	5	19	1	20
連結会計年度中の変動額合計	0	14	5	19	1	1,534
平成19年3月31日残高	581	14	9	604	49	8,109

(注) 剰余金の配当△168百万円及び利益処分による役員賞与△30百万円は、平成18年6月の定時株主総会における利益処分による増減であります。



## (4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期末 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	684	447	2,482
2 減価償却費	169	211	817
3 減損損失	-	167	1
4 貸倒引当金の増減額	2	0	1
5 賞与引当金の増減額	△ 241	△ 243	△ 2
6 役員賞与引当金の増減額	-	△ 5	11
7 退職給付引当金の増減額	2	3	14
8 役員退職慰労引当金の増減額	7	△ 49	28
9 受取利息及び受取配当金	△ 5	△ 16	△ 18
10 支払利息	42	35	143
11 固定資産売却損	0	-	0
12 固定資産除却損	7	0	61
13 投資有価証券評価損	-	-	108
14 役員賞与の支払額	△ 30	-	△ 30
15 売上債権の増減額	△ 199	△ 705	△ 1,321
16 たな卸資産の増減額	△ 13	80	△ 249
17 仕入債務の増減額	133	433	1,794
18 前払費用の増減額	△ 14	△ 14	△ 13
19 未払金の増減額	△ 147	△ 97	188
20 未払消費税の増減額	9	15	△ 28
21 未払費用の増減額	△ 17	71	3
22 その他資産増減額	△ 48	△ 12	30
23 その他負債増減額	117	190	18
小 計	458	513	4,041
24 利息及び配当金の受取額	5	16	18
25 利息の支払額	△ 42	△ 33	△ 145
26 法人税等の支払額	△ 513	△ 399	△ 769
27 過年度法人税等の支払額	-	-	△ 95
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 91	96	3,048
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産の取得による支出	△ 67	△ 54	△ 1,599
2 有形固定資産の売却による収入	-	-	-
3 無形固定資産の取得による支出	△ 47	-	△ 148
4 投資有価証券の取得による支出	△ 4	△ 106	△ 41
5 貸付金の回収による収入	0	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 118	△ 161	△ 1,788
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 短期借入金の増減額	△ 1,140	250	△ 1,500
2 長期借入による収入	2,233	334	6,075
3 長期借入金の返済による支出	△ 692	△ 688	△ 3,723
4 社債の償還による支出	-	-	△ 860
5 少数株主からの払込みによる収入	50	-	5
6 自己株式の取得による支出	0	△ 1	△ 2
7 配当金の支払額	△ 126	△ 100	△ 166
財務活動によるキャッシュ・フロー	323	△ 205	△ 171
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	4	0	4
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	117	△ 271	1,092
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,114	3,207	2,114
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	2,231	2,936	3,207